

家庭集会C組レポート

コロナ禍で3月の予定が中止になり、7カ月振りに再会出来た家庭集会、C組は10月13日(火)宮島、市川両チャーターメンバーと、それに準ずる田中、土屋両会員に原田幹事を加えた6名で「すみだ」の鉄板焼フルコースに舌鼓を打ち乍らスタートしました。

金子直前会長の決めたテーマ「会員増強」並びに今期IMでディスカッションする「ロータリーに入会して良かったこと」について密度の濃い話し合いが出来ました。

まず、長老格の宮島会員から「会員増強の基本はロータリークラブに魅力があるかどうかの問題」と提起。「昔は地元の優良企業(著名人を含む)が大勢いたし、私自身ロータリーに入会するのが夢だった。原点に立ち返って江東区の人をどのように集めるかを検討していくのが必要なんじゃない」更にロータリーに入会して良かったことは「四つのテスト」に出会えたことだと語ってくれました。

続く、市川会員(カウンセラー役)は、江東区の名士、毎週木曜日に開かれる木材市場では欠くことの出来ない存在乍ら、出来る限り例会に顔を出してくれている。「全て良かった30年」と昔の仲間を懐かしみつつ、「トップは会社や業界では孤独、気軽に話せる友達はいない。ベイでは、それが可能なんだよ」と本音をポロリ。杯を重ねるとともに話は盛り上がり、全員に共通した意見では、会員増強は常に忘れてはいけない課題だが、現況での勧誘は非常に難しいで一致。

「しかし、会員が辞めず(健康上の理由を除く)継続しているのが、東京ベイの特徴で、会員は少ないが、うちのクラブくらい楽しいクラブは他にないんじゃない? 実に変なクラブだよネ。」「先輩は若手に優しいし、温かく受け入れてくれる、居心地のいいクラブ」「これからも仲間との絆を強め、ロータリーブランドを大切に守り、東京ベイ独自の路線を歩んでいこう」と結論に達し、散会となりました。参加者の皆様、有意義なご意見をありがとうございました。

リーダー 荒井節子記



ニコニコボックス

- 岡本 隆一君 田上様、卓話よろしくお願ひ致します。
- 原田 俊彦君 昨日の分区ゴルフ、大変お疲れ様でした。田上様、本日よろしくお願ひします。
- 工藤 久志君 田上様、世の中が大きく変わろうとしている中で今日の卓話、大変参考になるお話、注意深く聞かせて貰います。
- 丸山 文人君 4日、浜野ゴルフにて、19回目のエージシュートができました。
- 石渡 秀雄君 分区GOLFに参加された皆様、大変お疲れ様でした。最近、日程が合わずGOLFする機会も減り、永久ブービーメーカーになりそうな感じです。
- 波多野幸雄君 昨日の東分区ゴルフ、ベイチームに大変ご迷惑をおかけしました。すみません。田上さん、本日の卓話、よろしくお願ひします。
- 森 達郎 君 昨日の分区ゴルフ会、7位でしたが、上位5名に入っていませんでした。残念です。
- 荒井 節子君 田上様、卓話よろしく。C組家庭集会、盛り上がりました。只今レポート作成中。
- 宮島 俊雄君 田上さん、卓話楽しみにしています。
- 武内 次男君 本日の卓話に田上氏をお迎えして。よろしくお願ひします。
- 土屋 東明君 卓話に田上様をお迎えして。
- 許 瑛子 君 本日の卓話、田上さん、よろしくお願ひします。
- 田中 保 君 今日には田上さん、よろしくお願ひします。
- 水谷 文彦君 田上様、卓話楽しみにしています。
- 金子高一郎君 田上様、卓話、宜敷くお願ひ致します。
- 野木 芳宏君 田上様の卓話、楽しみにしております。
- 林 茂男 君 卓話に田上会員を迎えて。

合計 34,000円

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO
BAY
ROTARY
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区
VOL.30 NO.14 第1353回 2020年10月22日



Rotary Opens
Opportunities
ホルガー・クナーク会長

第2580地区ガバナー
野生司 義光(東京小石川RC)

30周年 新たなる一歩へ! 会長 岡本隆一

本日の卓話

「ウーバー その後」

神子田健博氏(東京RC)

次回の卓話

「司法一制度と風土のせめぎ合い」

新庄一郎氏(東京RC)

2020年10月15日
第1352回 例会報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正出席率
19人	17名	89.47%	10月1日 100%

- 点 鐘
- ロータリーソング 「我等の生業」
- ゲスト なし
- ビジター 川尻弘樹氏(東京羽田RC)

<幹事報告>

・バギオ基金より、バギオ訪問交流の旅が2021年2月11日～14日で行われるとの連絡がございました。興味のある方は事務局までお知らせください。

<委員会報告>

・工藤ゴルフ会幹事より、10月14日東分区懇親ゴルフ会が開催されました。ベイは、団体戦で7位と健闘致しました。ご参加の皆さん、お疲れ様でした。

10月15日の卓話は、田上睦深氏(東京本郷RC)による「働き方は大きく変わる、経営者にとって在宅勤務導入の良い点、悪い点」でした。会員の事業所でも在宅勤務の導入を進めているところもあり、活発な意見交換もございました。



- | | | | | |
|-------|---|--------|-------|-------|
| ■ 例会日 | 毎週木曜日 12:30~13:30 | ■ 役員 / | 会 長 | 岡本 隆一 |
| ■ 例会場 | 〒103-8520 東京都中央区日本橋蠣殻町2-1-1
ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111・FAX03-3667-1615 | | 会長代理 | 原田 俊彦 |
| ■ 事務局 | 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F
TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611
E-mail tokyobay@club.email.ne.jp
HP https://tokyobayrotaryclub.com | | 幹 事 | 原田 俊彦 |
| | | | 副幹事 | 田中 保 |
| | | | 会報委員長 | 市川 英治 |



第八回 米山記念奨学会の誕生の経緯

米山梅吉は生前「アジア諸国からの留学生を自費で自分の名を告げず学費援助」をしていた「帰国後、高い地位についても手紙をくれたり、尋ねてくれた」と喜んで話していたようです。自分の苦学時代を思い出しているのでしょうか。

さて、以下これを立ち上げたと言われている主たる人物と経緯をご紹介します。

◎東京ロータリークラブ 古沢丈作さん

- ・大連で日系企業の数社経営に携わっていましたが、昭和初期の恐慌で米山の経営する三井信託から120万円の融資を受けてピンチを回避出来た。
- ・大連ロータリークラブを松岡洋右（南満州鉄道）を会長に迎え創設した。
- ・ロータリーの日本化で11ヶ条の綱領を5ヶ条に要約して「大連宣言」を作った。日本ロータリーの生き残りをかけて作成し、米山の絶賛を得た。
- ・自分もだが、晩年の米山の解散などの労苦を深く我がことのように実感しており、亡くなった直後から、その遺徳として米山基金たる形で世に出したかった。

◎東京ロータリークラブ 小林雅一さん

- ・東京ロータリー創設に参画と米山の指導を仰いで、同年、内外編物を起業。靴下製造を「四つのテスト」と米山のアドバイスで一部上場、年商1500億円を達成、世界的なアパレル企業にした。経営拡大の為の努力をしつつ、名古屋ロータリークラブ創設、幹事となる。東京ロータリークラブ入会後も幹事13年。日本ロータリー無念の解散を米山と同様に悼み、悲しみ、終戦まもなく米山が亡くなられ、何とか意志を継いで復帰をと念じ、自身の渾身の努力が実り、国際ロータリー復帰が実現した。即、東京ロータリークラブの会長を、そして、3年後に地区ガバナーを務める。尚、当然のことながら米山の遺徳の基金を考えていたので古沢と同様の奨学金制度を共に立ち上げることに力を注いだ人物である。故に1957年「ロータリー米山奨学委員会」初代委員長の任についた。RI会長候補になりつつ病に倒れ実現しなかった。

◎東京ロータリー会員及び例会承認について

復帰ロータリー会員の一人であった小川守三氏（東京眼鏡院／検眼）の記述された文章「米山ファンドのことなど」についてご紹介します。
「今は亡くなった日本交通公社の高久甚之助氏は私がロータリークラブの理事をしておりました時に、戦後のアジア民族融合のため、何かロータリーの仕事として考えたいと常に申して居られました。私も、その意思に共鳴致し、アジア諸国からの留学生を呼ぶことも一案ではないかと提案しましたら、古沢会長はじめ各理事並びにガバナー小林雅一氏、その他諸先輩の賛成を得ましたので、名古屋大会の部門別協議会で説明して皆さんのご賛同を得、東京ロータリー倶楽部例会においてその経過を報告致しました」

この後、まとめて時系列的に簡単な表にて見て頂きます。

続く 

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会について

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

	米山梅吉 (1868年生)	古沢丈作 (1881年生)	小林雅一 (1888年生)
1917 (大正6)	政府特派員財政経済委員として渡米	(1914)満州大連 日清豆糖製造KK 大連支店長	ニューヨーク森村組にて米山と初対面
1920 (大正9)	東京ロータリークラブ創立 初代会長 内外編物設立に参画	(1918)日清製糖KK 松下商店合併 満州ペイント、満州石炭、朝鮮肥料発足	内外編物設立 東京ロータリークラブ創立に支援
1924(大正13)	三井信託創立 初代社長		名古屋ロータリークラブ創立 幹事
1927 (昭和2)		昭和金融恐慌 三井信託より120万円借入れ	
1928 (昭和3)	第70区 初代ガバナー (日本、台湾、朝鮮、千島、満州 樺太をテリトリーにRより承認)	大連ロータリークラブ創立 会長/松岡洋右 副会長/古沢丈作	
1929(昭和4)			東京ロータリークラブ入会 幹事
1929(昭和11)		「大連宣言」提案 東京ロータリークラブ入会	
1929(昭和14)		第1回 日滿ロータリー地区連合会年次大会	
1940(昭和21)	4月28日 逝去		
1949(昭和24)	※1944.1.27 ポール・ハリス逝去		国際ロータリー復帰 東京ロータリークラブ会長 地区ガバナーに就任
1952(昭和27)		東京ロータリークラブ/会長 高久甚之助、小川守三氏を初めとする 東京ロータリー会員、奨学事業構想・立案 「米山基金」(米山ファンド)試案作成	
1957(昭和32)			新組織「ロータリー米山奨学委員会」を 結成 初代会長

いずれにせよ、米山梅吉の日本ロータリークラブ創立と関東大震災、復興後の経済・社会への奉仕の心と数限りない実践の行跡からして知る人ぞ思う、生まれるべくして生まれた奨学金制度と思われます。

***2020年までの実績累計人数 129ヶ国 21,624人**
2019-20年次 年間寄付(収入)13億3,632万円 (支出)15億円突破



ポール・ハリス来日 昭和10年 東京
鹿島精一 小林雅一
宮岡恒次郎 米山梅吉 ポール・ハリス 徳川家達 斎藤 實 ボブ・ヒル